

【自転車走行空間整備事業の展開方向】

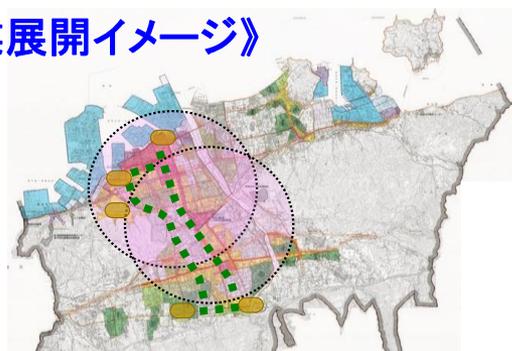
短期
(概ね5年後)

- ・将来の都市構造である集約型都市構造に対応し、行政機能や交通結節機能が集中する中心部の都市活動や通勤通学行動を支援する自転車ネットワークの整備
- ・本市の特性である産業遺産をめぐる自転車ネットワークの整備を図り、来訪者を含めた観光レクリエーションでの自転車利用や市民の自転車利用の促進への対応を推進

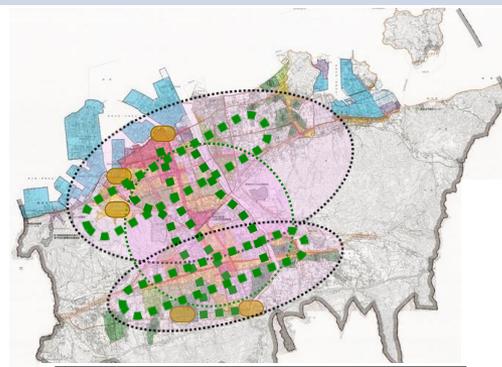
中長期
(概ね5年後以降)

- ・整備路線を自転車利用ネットワーク全体に拡張し、地域間や拠点施設のアクセス路線を整備することで、自転車交通の回遊性、利便性の向上を促進
- ・自転車走行空間のきめの細かい整備により、自転車ネットワークの質の向上と自転車利用のさらなる促進

《事業展開イメージ》



- 自転車ネットワーク整備エリア
- 産業遺産
- 産業遺産をめぐる自転車ネットワーク



- 自転車ネットワーク整備エリア
- 産業遺産
- 市内をめぐる自転車ネットワーク

	延長(km)
短期	37.0
中長期	87.0
計	124.0